令和元年度第2回自立支援協議会

令和元11月12日（火）

資料3

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 部会名 | 令和元年度　第1回　障がい当事者部会 | | |
| 日時 | 令和元年9月24日（火）　14：00～16：10 | | |
| 場所 | 板橋区役所　北館9階　大会議室A | | |
| 参加者 | 9名 | | |
| 会議の公開（傍聴） | 公開 | 傍聴者数 | 1名 |
| １　報告事項  （１）板橋区地域自立支援協議会定例部会「障がい当事者部会」について  ・平成30年度障がい当事者部会の協議事項を振り返る形で、事務局より報告を行った。  （２）都主催の令和元年度地域自立支援協議会交流会について  ・事務局より報告を行った。  （主な意見）  ・障がい者への支援は、まず当事者の声（困ったこと、課題、希望）を聞き、その上でその問題を解消するための具体的な施策に作り上げていくことが大切である。  ・自立支援協議会で洗い出された課題は、その場での共有だけで終わらせず障がい福祉計画に繋げていけると良い。  ・交流会の開催は本会委員を対象にメールでの周知であった。今後は各部会員にも周知した方が良いのではないか。また、その場合は周知対象により様々な障がい当事者が含まれることとなるので、周知方法と申込手続きについても配慮ある方法で行っていただきたい。  ２　その他  （１）各部会員による意見交換  　（主な意見）  　・既存の会員の高齢化や新規入会の少なさから会員が減少している。（複数団体より）  ・障がいの程度が重い方や、医ケア児だとなかな入所や通所先が見つからない。誰もが安心して地域で暮らせるよう、どのような障がいであっても受け入れられる入所施設の開設を切に望む。  （２）今後の当事者部会のあり方、及び第2回当事者部会の議題について  （主な意見）  ・当日会場に来られなくてもSkype等で参加できる仕組みがあると良いのではないか。  ・当事者部会の委員には家族や支援者も多いが、あくまで当事者の視点で考え意見することを忘れぬよう十分に意識しておく必要がある。  ・団体である強みを活かし当事者の声を区政に反映させていきたい。それと同時に、団体に所属していない障がい者の意見も公平に吸い上げる方法を検討すべきである。  ・限られた時間の中で各会の課題全てを協議するのは難しい。何か工夫が必要である。 | | | |